

89年の歴史とベンチャースピリット 1

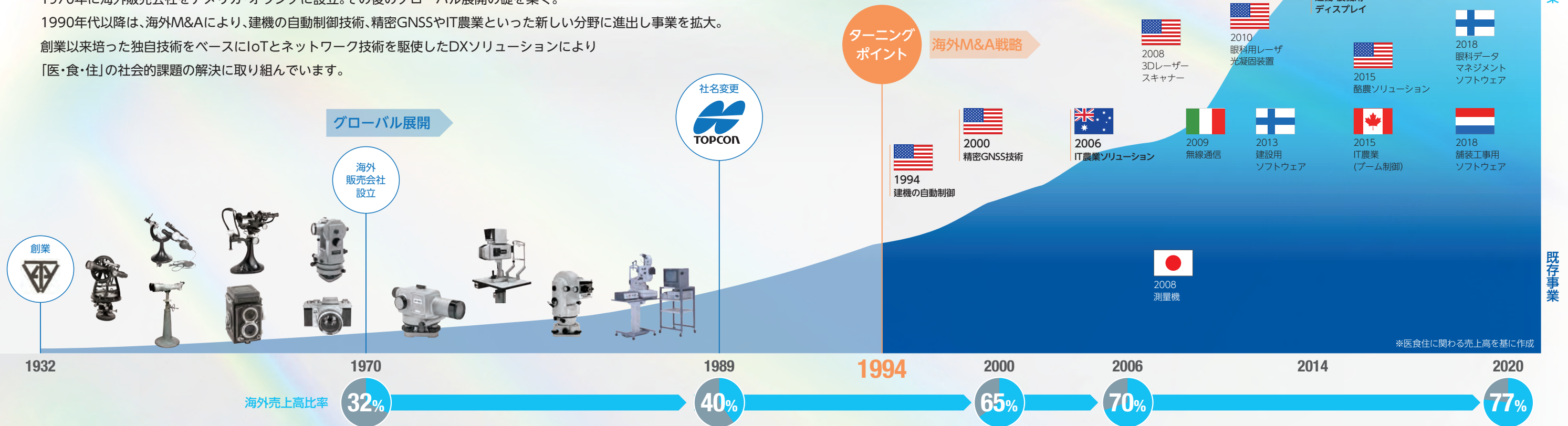
国産光学機器のパイオニアから、 「医・食・住」のソリューションプロバイダーへ チャレンジ精神を持ち続ける創業89年のベンチャー企業

1932年9月、測量機の国産化を目的に陸軍省の要請で、服部時計店精工舎の測量機部門を母体に「東京光学機械株式会社」を設立。

1970年に海外販売会社をアメリカ・オランダに設立。その後のグローバル展開の礎を築く。

1990年代以降は、海外M&Aにより、建機の自動制御技術、精密GNSSやIT農業といった新しい分野に進出し事業を拡大。

創業以来培った独自技術をベースにIoTとネットワーク技術を駆使したDXソリューションにより「医・食・住」の社会的課題の解決に取り組んでいます。



創業 1932 積極的なグローバル展開 1970~ ソリューションプロバイダーへ転身 1994~



国産光学機器のパイオニア

1932年測量機の国産化を目的に陸軍省の要請で服部時計店精工舎 (現、セイコーホールディングス株式会社) の測量機部門を母体に「東京光学機械株式会社」を設立。測量機、双眼鏡、カメラや照準眼鏡を生産。

戦後は双眼鏡の生産に主力をおき、主にアメリカ向けに輸出。さらに測量機を生産し戦後の国土復興と開発に貢献。

1947年医療機器事業を開始。



オプトメカトロニクスでヒット商品連発

1970年海外販売会社をアメリカ・オランダに設立。1986年には海外製造子会社を香港に設立、その後のグローバル展開の礎を築いた。

また、1970~80年代には、トプコン独自の光学技術に機械と電気技術を融合したオプトメカトロニクスを進化させ、画期的な測量機や視力測定機を開発し、総合精密光学機器メーカーとして確固たる地位を築いた。

1989年「株式会社トプコン」に社名変更。



海外M&A戦略と新規事業開拓で事業領域を拡大

1990年半ばから積極的な海外M&Aにより、建機の自動制御技術 (1994年・アメリカ)、精密GNSS技術 (2000年・アメリカ)、IT農業ソリューション (2006年・オーストラリア) といった新しい技術を取り込み、建設・農業分野に参入。

2006年に世界初のOCTと眼底カメラを融合した3次元眼底像撮影装置を開発。2013年にフルオートの3次元眼底像撮影装置、2014年にフルオートの無散瞳眼底カメラを発売。

M&Aと新規事業開拓により、ソリューション提案型ビジネスへ転換。



グローバル投資を加速

2014年以降さらにグローバル投資を加速、これまで国内外35社以上のM&Aやアライアンスを実施。2014~2015年複数のM&AによりIT農業の事業拡大を図った。また、アイケアIoTビジネスの推進拠点 (アメリカ) の設立やIoTシステム開発会社 (フィンランド) の買収により、眼疾患スクリーニングビジネスを創出。

先端のIoTやAI技術を融合し、DXソリューションにより「医・食・住」の社会的課題に取り組んでいる。



89年の歴史とベンチャースピリット 2

新しい事業創出の軌跡

住 Infrastructure ICT自動化施工ビジネスの創出

建機を自動制御する技術を持つベンチャー企業を買収

ブルドーザーやモーターグレーダーなどの建設機械の油圧を自動制御し事前に測量したデータに沿って土木建設工事を行うことができる技術を持つAdvanced Grade Technology社(米)を買収しました。これにより、建設現場におけるビジネスフィールドが測量から施工に広がりました。



最先端の精密GNSS技術を持つ企業を買収

モスクワ(ロシア)に技術の開発センターを持ち、複数の衛星測位システムのデータを組み合わせ、高精度で位置情報を得る最先端の精密GNSS(Global Navigation Satellite System)技術を持つJavad Positioning Systems社(米)を買収しました。創業以来の光学技術をベースとした測量技術と1994年に手に入れた建機の自動制御技術との融合により、建設現場の工場化を実現するソリューションを提供できるようになりました。



1994

2000

2006

食 Agriculture IT農業ビジネスへの参入

IT農業技術を持つ企業を買収

IT農業における豊富なアプリケーションとノウハウを有していたKEE Technologies社(オーストラリア、現Topcon Precision Agriculture社)を買収しました。精密GNSS技術との融合により、IT農業ビジネスに本格的に参入しました。



医 Healthcare スクリーニングビジネスの創出

フルオートOCT 3D OCT-1 Maestro／フルオート眼底カメラ TRC-NW400を発売



これらの製品は、眼科病院以外での使用に適した、当社独自の技術を生かしたフルオートな検査機器で、眼科病院以外の場所(日本国外のみ)での眼病を早期に発見するスクリーニングという新しい使い方が可能です。この特徴を生かし、眼科病院以外の場所で眼病を早期に発見するスクリーニングという新しい事業を創出しました。

Maestroは、ワンタッチで簡単に操作が可能で、スピーディなオート撮影・自在な測定ポジション・左右眼オート測定を実現した3D OCT(Optical Coherence Tomography(光干渉断層計)の略称で、光の干渉現象を生体計測に用いることにより、生体の深さ方向の詳細な情報を取得できる装置)です。NW400も同様にワンタッチで簡単に操作が可能で、スピーディなオート撮影・自在な測定ポジション・左右眼オート測定を実現した無散瞳眼底カメラです。

スクリーニングビジネス強化のためにアメリカに子会社を設立

眼疾患スクリーニングビジネスの拡大を目指し、3D OCTや眼底カメラなどを眼科以外の施設で効率的に活用するための専用ソフトウェアやIoTプラットフォームの開発及び課金を含む新しいビジネスモデルの構築と推進を目的にTopcon Healthcare Solutions, Inc.を米国に設立しました。



2013

2014

2015

2017

IT農業ビジネス拡大のキーとなる技術を持つ企業を買収



2014年に、農業の現場に求められる耐環境性に優れたディスプレイの開発及び製造を行うWachendorff Elektronik社(ドイツ、現Topcon Electronics社)、2015年に農業・酪農用施肥・給餌量分析・管理機器システムの製造・開発・販売会社であるDigi-Star社(アメリカ、現Topcon Positioning Systems社)と、IT農業向け超音波センシングとブーム制御技術開発のパイオニアであるNORAC Systems International社(カナダ、現Topcon Agriculture Canada社)の2社を買収しました。これにより、農業事業者の多様なニーズに対しソリューションを提供できるようになりました。